

DDS の運用について（外国雑誌センター館申し合わせ）

外国雑誌センター館幹事会

図書館間の文献複写サービスにおける DDS（文献画像伝送サービス）の運用方法について、「ドキュメント・デリバリー・サービスの運用について（申し合わせ）」（平成 13 年 6 月 27 日 国立大学図書館協議会第 48 回総会）にもとづくほか、以下のとおり申し合わせる。

1. DDS ディレクトリの作成

各館の相互の文献画像伝送を円滑に行うため、DDS のディレクトリを次のとおり作成する。

- (1) ディレクトリは、NACSIS-ILL システム参加機関ファイルを用い、必要な項目を記述する。
- (2) 記載項目は、「レンディングポリシー（POLICY）フィールド」を使用する。
- (3) 記載内容は、次のとおりとする。

① DDS システムの名称・バージョン又は送付方式

記述法 DDS：システム名・バージョン又は送付方式の名称

(例) DDS：Ariel ver. 2. 2

(例) DDS：EPICWIN ver. 2

(例) DDS：メール添付

② 伝送先アドレス（送信方法）

記述法 アドレス：（送信種別）伝送先アドレス

(例) アドレス：DDS（Ariel-FTP）130.xx.96.120

(例) アドレス：DDS（メール添付）xxx@lib.yyy-u.ac.jp

③ 伝送にかかる注意事項

伝送方法に制限のある場合（メールのみ、伝送容量制限など）や、その他特徴（カラー可能等）を記載する。

(例) DDS（メール添付）：送受信とも PDF ファイルをメール添付により伝送可能。最大メール容量は 10MB。カラー不可。

2. DDS システムは、次のとおり、運用する。

(1) 著作権法に基づき、DDS システムを運用するものとする。著作権確認が必要な場合は、『依頼館』が責任をもって行い、「コメント（CMMNT）」に明記する。受付館は、必要があれば確認する。

(2) 依頼館は、DDS システムによる伝送を依頼する場合、NACSIS-ILL レコードに次

の項目と内容を記載する。

項目	NACSIS-ILL 項目	記述法と内容
送付方法	SPVIA	「DDS」と記述する。
送信種別・アドレス	CMMNT	①送信種別, ②許諾確認, ③送信先メールアドレス, ④メール容量, ⑤DDS 対応不可の場合の指示 (例) ①DDS (メール添付) による 伝送をお願いします。 ②JCLS の送信許諾確認済み ③送信先アドレス : dds@lib.xxx-u.ac.jp ④メール容量 : 10MB ⑤DDS 不可の場合は, 郵送 で送付してください。

なお、今後、NACSIS-ILL が DDS に対応した専用フィールドを設けた場合も、これに対応したクライアントソフトウェアが普及するまでの間、この記載方法を継続する。